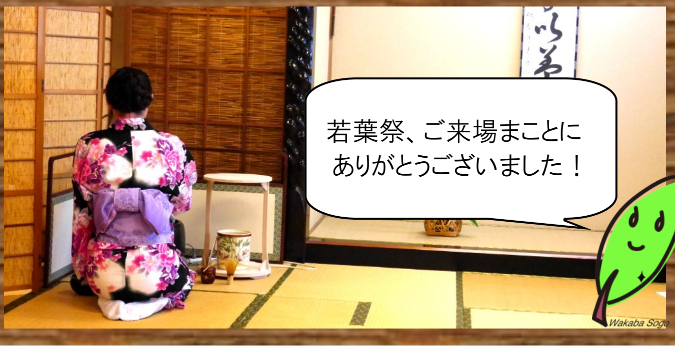
教務部広報発行　パンフレット別冊版

Our Voice

2016 Autumn　入試特集号



東京都立若葉総合高等学校

東京都稲城市坂浜1434-3

TEL：042(350)0300

HP：http://www.wakabasogo-h.metro.tokyo.jp/

若葉生の一日

登校

元気に登校！

登校したら、掲示板で連絡を確認！
自分で情報収集する力をつけます。

自学自習 ＳＨＲ

ＳＨＲの前に
自学自習します！

第１時限

第２時限

第３時限

第４時限

若葉は選択科目が多いので、教室移動がたくさんあります。自分の荷物を持って移動し、授業を受けます。個人用ロッカーも大活躍！

素描

自分だけの時間割を作って学べる！

若葉総合では、
系列・分野をこえて
科目選択できます！

国際文化理解

昼休み

昼にパン屋さんが学校に
来てくれます！おいしいよ★

第５時限

第６時限

生活支援技術

伝統音楽

演奏実践

ＳＨＲ

他にもたくさんの選択授業があります！詳しくはパンフレットへ

放課後

放課後の部活動も盛んです！
それぞれの目標に
向かって頑張っています！

仲良く下校♪

若葉生の「学校生活」

生活指導部

学校行事、部活動そして生活指導と教科の学習以外の学校活動全般を支えていく生活指導部の立場からお話しします。

学校行事

全校上げての二大行事として、5月の体育祭、9月の若葉祭(文化祭)が上げられます。

体育祭は、赤、青、黄の三団による対抗戦で、競技、応援、パネルの三部門で優勝を争います。パネルは、他校とは趣の異なる芸術的な作品であると自負しています。また、三年次男子による「蛇の皮むき」や全女子による「スピード綱引き」の迫力は圧巻です。

若葉祭は、1年次全クラスの演劇発表、伝統音楽・茶道・応用生物科学・ビジネス実践・美術系・音楽系講座など、総合学科である本校ならではの講座(授業)発表が特徴である他、クラス単位、部・同好会単位で数多くの発表が見られます。

部活動

本校には、同好会も含めて運動部が13、文化部が15あります。全員必ず加入するものではありませんが、全員ができるだけ部活動を行うことを奨励していて加入率は80%を越えています。陸上競技部は関東駅伝大会、美術部は全国大会の常連校である他、ソフトボール部(男子)は、関東大会(2年連続)・全国高校総体(初)への出場を果たしています。これ以外の部活動も都大会等で上位進出を果たしています。剣道部、陸上競技部、男子バスケットボール部、女子サッカー部では、文化スポーツ特別推薦を実施しています(詳細は、P. 4参照)。部活動で活躍する生徒は、部活動のみならず学習にも積極的に取り組み、ホームルームや学校行事においてもリーダー的役割を果たし、本校の牽引役となっています。

生活指導

本校の生活指導は、「自ら自己の進路を開拓し実現していく」という観点から、「基本的生活習慣の確立」「規範意識の確立」「自主・自律の確立」「自己責任感の確立」など、高校生としてふさわしい社会性を身につけることに重点を置いて指導しています。

①「ノーチャイム・ノー放送制」による時間管理と諸連絡

緊急時・考査時を除き原則としてチャイム・校内放送はありません。チャイムがなくても授業の開始時には全員教室にいて遅れる生徒はいません。授業の連絡、委員会活動の連絡などはすべて掲示板で行っていて、これらを通して「自主・自律」・「自己責任感」を養いながら、「静かだけれど活気のある学校」という若葉の好印象を作っています。

②身だしなみ指導の充実

本校は総合学科なので市民講師を始め本校の教育を支えてくれる多くの方が来校し、また、上級学校訪問をはじめ生徒が校外へ出て活動することもしばしばあるので身だしなみ指導に力を入れています。「化粧・染髪・ピアス等の装飾品着用は禁止」し、「制服をきちんと着用」する指導を行っています。毎月「身だしなみ指導」の日を設けて指導しています。昨今、多くの学校で女子のスカート丈の短さが問題になっていますが、本校では、スカート丈は「膝の中心」を基準とし、拳1個分の長短までは許容する指導を行っています。

進路に合わせた科目選択例

美術分野を志すAさんの場合

2年次	絵画Ⅰ	素描Ⅰ	美術史	伝統工芸Ⅰ	情報デザイン	古典A	(理科選択)化学基礎
3年次	絵画Ⅱ	素描Ⅱ	伝統工芸Ⅱ	平面構成演習	日本文化論		

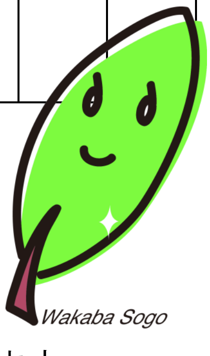
スポーツ分野を志すBくんの場合

2年次	スポーツ概論Ⅰ	体作り運動Ⅰ	トレーニング理論	政治経済	心理入門	国語表現	(理科選択)化学基礎
3年次	スポーツ概論Ⅱ	体作り運動Ⅱ	スポーツ実践	体育演習			

看護師を志すCさんの場合

2年次	社会福祉基礎	基礎看護・介護	心理入門	生物		数学ⅠA基礎演習	(理科選択)化学基礎
3年次	看護福祉医療	生活支援技術		数学ⅠA演習	生物演習		

進路指導充実校の若葉！
科目選択には十分な時間を取っています。
全教員が相談に乗り、ひとりひとりの科目選択をサポートします。



若葉総合高校で学ぶ「看護・福祉」

まず、最初にお断りしますが、若葉総合高校で「看護・福祉」を学んでも、資格は何も取れません。一部の都立高校では、介護職員初任者研修資格が取れる場合がありますが、厚生労働省は、将来的に介護職員の任用資格を『介護福祉士』に一本化する方針を示していますので、より上の資格を上級学校で取得する方が有利であると考える為です。ただし、介護職員初任者研修資格につきましては、東京都福祉人材センターが無料で養成する場合には斡旋しています。

また、准看護師の資格も、その内容の高度化により、高等学校で取ることはできません。

では、若葉総合高校で学ぶ「看護・福祉」とは何でしょうか？　それは、将来、これらの対人援助職に就く為の基本を学ぶという事です。この基本の学びは、「看護」や「福祉」を専門的に学ぼうとする学校等と同等のものです。また、総合学科である為、ただ「看護」の基礎だけ「福祉」の基礎だけを学ぶのではなく、両者を関連性の中で学ぶことができるため、実際にその職に就いた時の他職種協働・チームケアの理解が進みます。

対人援助の基礎を学ぶといっても、それが、「知識」に留まっている限り、社会に対して何かの貢献が出来ると言う事になりません。そこで、若葉総合高校で学ぶ「看護」や「福祉」では、学びが必ず社会に貢献できる事を念頭に置いて展開して行きます。また、対人援助に関して重要な観点『尊厳の保持』を学習の核にしています。こうすることで、仮に「看護・福祉」方面に進学することが無かったにしても、

『ふ・く・し』　**ふ**だんの　**く**らしの　**し**あわせ

を実現する人材が育つと考えています。

看護系に進学するにしても福祉系に進学するにしても、その基礎が若葉総合高校でしっかり身につく為、小論文や面接では有利となり、希望の進路の実現が確実なものとなっています。また、入学後の専門科目の学習に役立っています。　さらに、本校卒業後も、月に一回、学習会という形で、学びの深化をはかる取り組みも行っています。(様々な職種の方、あるいは、学習中の方との総合的な意見交流)

資格ではなく、対人援助の基礎をしっかり学びたい方は、若葉総合高校への進学をお薦めします。

若葉総合の「音楽」

「若葉総合」というと美術分野で注目されていますが、音楽系の授業や部活動も健闘しています。今回は若葉の音楽系授業をご紹介します。

＜音楽Ⅰ＞　本校では芸術科は音楽・美術・書道から入学時に選択し、1学年で2単位履修します。せっかく高校で音楽を選択したのですから、新しいこと、少し難しいことにも挑戦してみよう、と、都立高校としては珍しいユニークな内容の授業を展開しています。年間を通じて2時間続きの1時間で器楽、もう1時間で歌唱を実施しています。器楽としては1～2学期に和楽器の篳篥（ひちりき）、2学期にヴァイオリン、3学期にギターを学習します。

篳篥　…　篳篥は雅楽で主旋律を演奏する管楽器です。難しい楽器で、最初は音が出なくて苦労しますが、徐々にリードを慣らしながら根気よく取り組み、最終的には全員演奏できるようになります。演奏前にリードをお茶に浸すところが珍しい楽器です。「唱歌（しょうが）」と呼ばれる伝統的な学習法により古典曲「越殿楽」を学び、さらに、自由曲としてポップスの演奏まで行います。他所ではなかなか体験できない「平安文化」に直接親しむことができます。

ヴァイオリン　…　1台の楽器を2人で交代しながら練習します。弓の持ち方、楽器の構え方など基礎的なことから入り、音階と簡単なメロディを学習します。「キラキラ星」「アメイジング・グレイス」「カントリーロード」などを練習し、最終的には「自由曲」を1曲演奏することを課題としています。難しい楽器というイメージのあるヴァイオリンですが、「意外と簡単に弾けた」「経験できてよかった」という生徒の感想を沢山頂いています。

ギター　…　これも1台の楽器を2人で交代しながら練習します。音階と、簡単なメロディを練習したあと、コード伴奏を学習し、最終的には「イエローサブマリン」や「カントリーロード」を自分で伴奏しながら歌う「弾き語り」を課題とします。

歌唱　…　歌唱領域では、呼吸法や発声の基礎を学び声の表現力を伸ばしながら、やや難しいアカペラの合唱や、外国語の歌を原語で歌うなど、高校ならではの内容を実践しています。

＜2・3年次の音楽系選択科目＞　2学年では選択科目として「器楽」（主に弦楽器やピアノの実習）、「声楽」（歌唱や合唱の実習）、「音楽基礎」（音大等志望者のための楽典やソルフェージュの基礎）、「ピアノ基礎Ⅰ」（保育系進学希望者のためのピアノ実習）、「伝統音楽Ⅰ」（箏と三味線の実習）などが、また、3学年では「演奏実践」（器楽、声楽の実習）、「ソルフェージュ」、「ピアノ基礎Ⅱ」、「伝統音楽Ⅱ」、などを選択できます。

「伝統音楽」では生田流の大師範の先生が、「器楽」「演奏実践」ではヴァイオリンやチェロのプロの演奏家がそれぞれ市民講師として指導して下さいます。いずれの講座も2年生から3年生にかけて2年間継続して学び、確実に実力を伸ばすことができるのも特長です。音楽関係の進路を目指す人も、趣味・教養として音楽を学ぶ人も、充実した内容の授業を楽しんでいます。

あなたはどれで受ける？　～若葉総合高校の入試制度のご案内～

若葉総合高校の入試には3つのタイプがあります

1	2	3
一般推薦	文化・スポーツ等特別推薦	一般入試

30%（72名）　＋　約70%（164名）　＝　236人〈予定〉＊

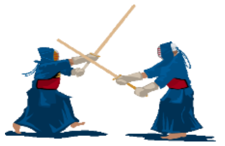
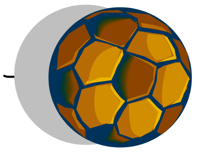
《平成29年度入試》

＊転勤枠等を合わせて、全体で240人となります。

① 一般推薦

募集人数	72名(文化・スポーツ等特別推薦枠を含みます)
試験内容及び満点	作文　300点 面接　300点（「自己PR」を含みます） 調査書　600点（観点別評価は使用せず、５段階評定を点数化します）
合計点	合計1200点満点
試験日	1月26日(木)集団討論・個人面接 ＊集団討論は30分程度、個人面接は10分程度(面接8分＋自己PR2分) 1月27日(金)作文　50分
出願	1月23日(月)　午前9時から午後3時まで
合格発表	2月2日(木)　午前9時

② 文化・スポーツ等特別推薦

募集人数	１８名	
種目と推薦の基準 	剣道 	男女合わせて4名　以下の全てに当てはまる者 ○中学校剣道部又は地域剣友会に所属し、初段以上を取得している者 ○各種大会で上位入賞（都大会出場を含む）の成績を収めた者 ○入学後3年間部活動を継続し、学業と両立させ、他の生徒の範となる者 ○本校剣道部の活動方針、内容を十分理解している者
	サッカー 	女子4名　以下の全てに当てはまる者 ○中学生で、学校又は地域のサッカークラブ等に所属し、大会出場等の経験がある者 ○入学後、女子サッカー部で3年間継続して活動するとともに、学業と両立することができる者
	バスケットボール	男子4名　以下の全てに当てはまる者 ○東京都大会にレギュラー選手として出場した実績のある者又は他の大会においても同様の実力があると認められる実績のある者 ○本校バスケットボール部の活動方針を十分に理解している者 ○上記に加え、入学後、学業と両立するとともに、3年間活動を継続できる者
	陸上競技 	男女合わせて6名　以下の全てに当てはまる者 ○中・長距離種目で、中体連主催の通信陸上競技東京都大会又は中学総体陸上競技東京都大会に出場経験のある者又は同等以上の競技成績のある者 ○本校陸上競技部の活動方針を十分に理解している者 ○上記に加え、入学後3年間、部活動を継続するとともに、学業と両立することができる者
試験内容及び満点	個人面接　200点(「自己PR」を含みます) 実技検査　200点 調査書　400点(観点別評価は使用せず、５段階評定を点数化します)	
合計点	合計８００点満点	
試験日	1月27日(金)　個人面接・実技検査（一般推薦の作文検査終了後に行います）	
出願	1月23日(月)　午前9時から午後3時まで	
合格発表	2月2日(木)　午前9時	

《文化・スポーツ等特別推薦と一般推薦の同時出願について》

＊文化・スポーツ等特別推薦は一般推薦との同時出願が可能です。同時出願した場合には、文化・スポーツ等特別推薦と一般推薦の両方を受検することになります。この時、文化・スポーツ等特別推薦枠で不合格となった場合には、さらに一般推薦枠で合否が判定されることになります。面接は2回受けることになりますが、文化・スポーツ等特別推薦の自己PRと、一般推薦の自己PRは同じ内容でかまいません。

受検料はそれぞれにかかりますが
同時出願をお勧めします。

③ 一般入試

募集人数	164名(予定)
学力検査	国数英社理の5教科　＊500点満点を700点に換算します
調査書の扱い	国語、数学、英語、社会、理科の評定値→１倍 音楽、美術、保健体育、技術・家庭の評定値→２倍 ＊加算した計65点満点を300点に換算します
合計点	合計1000点満点
試験日	2月24日(金)
出願	2月7日(火)　午前9時から午後3時まで・2月8日(水)　午前9時から正午まで
合格発表	3月2日(木)　午前9時

《過去の入試データ》（一般推薦、一般入試では、男女別の定員はありません）

	２６年度入試		２７年度入試		２８年度入試	
	①推薦入試	②一般入試	①推薦入試	②一般入試	①推薦入試	②一般入試
募集人数	72	164	72	164	72	164
受検人数	204 男　６４ 女１４０	224 男　７５ 女１４９	214 男　４５ 女１６９	245 男　６１ 女１８４	199 男　５６ 女１４３	241 男　６４ 女１７７
合格者数	72 男　１８ 女　５４	166 男　５９ 女１０７	72 男　１１ 女　６１	166 男　４０ 女１２６	72 男　２２ 女　５０	166 男　４９ 女１１７
※　倍率	2.83	1.37	2.97	1.47	2.76	1.45

※倍率は受検人数を合格者数で割ったものです。一般入試の募集人数は転勤枠などの別枠を引いた数値です。

「本校の期待する生徒の姿」

本校は多摩地区初の総合学科高校として、4系列・14分野にわたる多彩な選択科目を用意し、あらゆる場面で生徒の個性を伸ばし、総合的な力の向上を図る教育活動を進めています。これまで積み重ねてきた実践を基に、生徒の多様な進路実現や自主・自律・自己責任の確立を目指します。本校は、以下に示すような生徒の入学を期待しています。

1　本校の教育理念や教育方針について理解・共感し、入学を強く希望する生徒
2　総合学科の教育の特色を理解し、興味・関心を深めるとともに、幅広く学ぶ意欲のある生徒
3　将来の進路について真剣に考え、さらに社会へ貢献することを視野に入れて進路実現を目指す生徒
4　向上心にあふれ、自ら課題に積極的に取り組むとともに、他者と協調して課題解決を図ろうとする姿勢をもつ生徒
5　中学校での総合的な学習の時間への取り組み、特別活動、部活動等に著しい成果がある生徒

※特に推薦選抜においては、本校の教育活動やその特色を十分理解し、進路実現に向け自主的に努力する生徒を望みます。

※「文化・スポーツ等特別推薦」を、陸上競技、男子バスケットボール、剣道、女子サッカーについて実施します。

推薦入試に関してのよくあるQ&A

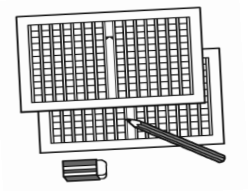
●集団討論って何？

グループに分かれてテーマについて討論し、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え、人間関係を構築するためのコミュニケーション能力があるかどうかを評価するものです。

【若葉総合：昨年度のテーマ】（グループによって異なるテーマを指定します）

「学校に携帯電話を持ち込むこと」　「夜10時以降、自宅で携帯電話の使用をすること」

●２分間の自己PRって何？



あなたについて自由に表現してもらう時間です。
２分間、面接官はあなたを見る(聞く)だけです。

自己PRは、面接会場で受検生一人が入室して行います。

正しい方法というものは存在しません。表現方法は一人一人異なってかまいません。

前頁にある「本校の期待する生徒の姿」をよく読んで内容を考えましょう。

【注意】

- 発表(口頭発表、作品、演技、演奏等）を通して、自分の優れた点や個性を表現(自己PR）すること、としています。
- 一芸入試ではありません。技術等を評価するのではなく、個性を表現する力や説明する力を評価します。
- 作品、賞状の持ち込み、楽器演奏も認めます。ただし、他の受検会場の迷惑になることは避けて下さい。
- 時間の延長はありません。また、コンセントなどの電源を貸し出すことはできません。
- 一般推薦と文化・スポーツ等特別推薦を同時出願する人は、自己PRを2回行います。これは、同じ内容の自己PRでもかまいません。

＊不明な点があれば、1月に行う個別相談会を利用するなどして確認して下さい。

●作文ってどういう内容？

- 制限時間50分600字以内を予定しています。

【若葉総合：過去三年間に出題されたテーマ】

「現代社会では、協力することの大切さが重要視されています。あなたは、「協力することの大切さ」についてどのように考えますか。またあなたは、若葉総合高校での生活の中で、どのようなことに取り組めばその大切さを実感できると思いますか。」　（H２６年度）

「これからの社会を生きていく上で、あなたが身に付けたいことは何ですか。一つあげ、理由を含めて述べなさい。また、それを身に付けるために、若葉総合高校で取り組みたいことを具体的に書きなさい。」　（H２７年度）

「あなたは、若葉総合高校での三年間で、どのような能力を身に付けたいと思いますか。また、その能力を人生にどのように生かそうと考えるかを述べなさい。」　（H２８年度）

《今後の主な日程》

＊学校説明会は10・11・12・1月とも同内容です。

日程		内容	時間（予定）
10月	8(土)	学校説明会＊入試に関する説明が始まります。	①10:00～　②13:30～
11月	18(金)～26(土)	授業公開週間（18､22､24､25､26の5日間）	各日　9:00～15:10
	26(土)	授業公開	9:00～14:10
		学校説明会	①11:15～　②13:45～
		部活動公開	15:00～
12月	17(土)	学校説明会	①10:00～　②13:30～
1月	14(土)	個別相談会・学校説明会(９：30～1回のみ)	個別相談9:30～14:00予約制
	23(月)	推薦選抜願書受付日	9:00～15:00
	26(木)・27(金)	推薦選抜実施日	
2月	2(木)	推薦選抜合格発表日	
	7(火)・8(水)	学力願書受付日	7日(火)9:00～15:00・8日(水)9:00～12:00
	24(金)	学力検査実施日	
3月	2(木)	学力検査合格発表日	

（参考資料）　本校における諸費用について（3年間の概算）

都立若葉総合高校

《平成28年度生の例、消費税込み》　（単位　円）

項　目	1年次	2年次	3年次	備　考
入学料	5,650			合格発表から5日以内
前期授業料(4-6月分)	29,700	29,700	29,700	1ヶ月：9,900円 就学支援金の支給対象となった場合は、授業料の負担はありません。
後期授業料(7-3月分)	89,100	89,100	89,100	
前期積立金	46,000	45,000	13,000	1年次前期積立金:4/7まで 1年次後期積立金：7月末 2年次は5月と10月の2回 3年次は5月のみ
後期積立金	34,000	31,000	0	
PTA会費	3,600	3,600	3,600	1年次は7月末 2年次、3年次は5月
生徒会費	3,960	3,960	3,960	1年次は4/8 2年次、3年次は5月
教科書・副教材	必修科目 約19,000 選択科目 約500～1,000	必修科目 約7,000 選択科目 約1,200～13,000	必修科目 約3,500 選択科目 0～約14,000	3月に購入
校服	男子通常 29,916 男子夏季 9,396 女子通常 29,160 女子夏季 9,828 ﾎﾟﾛｼｬﾂ 1,500			ｼﾞｬｹｯﾄ・ｽﾗｯｸｽ・ﾈｸﾀｲ 夏ｽﾗｯｸｽ(任意) ｼﾞｬｹｯﾄ＋ｽｶｰﾄ・ﾘﾎﾞﾝの場合 夏ｽｶｰﾄ(任意) 夏季用(任意)　購入枚数任意
体育着（全員購入）	12,350			ｼｬﾂ・ﾊｰﾌﾊﾟﾝﾂ・上履き・体育館履き等
体育着（選択購入）	最大9,350			ﾛﾝｸﾞﾊﾟﾝﾂ・ｸﾞﾗﾝﾄﾞｼｭｰｽﾞ・水着
実習費 (ﾌｰﾄﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ・茶道など) その他	未定	未定	未定	2,3年次の選択科目の授業によっては実習費がかかるものがあります。
合計（最小）	約156,000	約 92,000	約 25,000	入学時費用　約130,000円
合計（最大）	約291,000	約222,000	約160,000	合計　約273,000～673,000円

	1 年 次	2 年 次	3 年 次
積立金支出予定項目	日本スポーツ振興センター 生徒手帳 入学時クラス集合写真 実力テスト・各種検査・スタディサプリ 新入生キャンプ 家庭科教材 産業社会と人間ﾃｷｽﾄ・ﾌｧｲﾙ 体育祭用はちまき 奉仕教科書 奉仕活動賠償責任保険 夏休み課題 教科用ファイル	日本スポーツ振興センター 生徒手帳 新年度クラス集合写真 実力テスト・各種検査・スタディサプリ 修学旅行 芸術鑑賞教室 奉仕活動賠償責任保険 教科用ファイル 体育祭用はちまき 夏休み課題	日本スポーツ振興センター 生徒手帳 新年度クラス集合写真 実力テスト・各種検査 校外学習 卒業アルバム・卒業文集 体育祭用はちまき 進路用個人写真